



B5WY-1051-02

# FUJITSU Printer

## カットシートフィーダ(FMPR-CF8G)

### ハードウェアガイド

このたびは、カットシートフィーダ（FMPR-CF8G）をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

このカットシートフィーダは、プリンタ本体に搭載して、単票用紙を一枚ずつプリンタ装置に送り出し、印字した用紙をスタッカに送り出す一連の流れを自動的に処理する装置です。

カットシートフィーダを使用すると単票用紙の自動給紙印刷が可能となり、効率のよい印刷作業を実現できます。

さらにカットシートフィーダにホッパーユニット（FMPR-CF81G：オプション）を取り付けて使用しますと二種類の単票用紙の自動給紙印刷ができます。

なお、使用できる用紙のサイズは、B5からB4横長方向までの単票用紙および郵便はがきを自動的に印字できます。さらに、手挿入口を使用してA3横長方向までの用紙に印字することができます。

#### ●本書の取り扱いについて

本書には、お買い上げいただいた製品を、プリンタ本体への取付け・取り外しに関する手順が記載されています。

プリンタ本体へ搭載した後のご使用方法については、プリンタ本体のハードウェアガイド（または取扱説明書）を参照ください。

# 目 次

1. 使用上のご注意	1
2. 製品の内容	2
3. 各部の名称	3
4. カットシートフィーダの搭載方法	4
4.1 カバーの取外し	4
4.2 カットシートフィーダの取付け	5
4.3 カットシートフィーダの取外し	7
5. オプション用品	8
5.1 ホッパーユニット FMPR-CF81G (オプション)	8
6. 故障とお考えになる前に	9
7. アフターサービスについて	12
8. 仕様	13

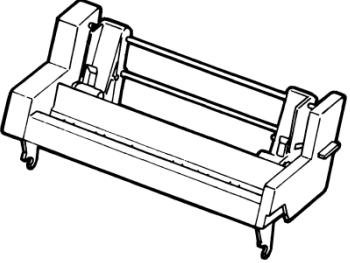
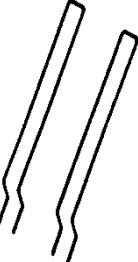
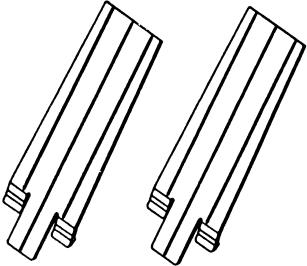
# 1. 使用上のご注意

カットシートフィーダのご使用に際しては、次の点にご注意ください。

- 1 郵便はがきの両面に印字する場合は、片面を印字後、そりをなくしてから反対側の面上印字してください。
- 2 大きさが異なる用紙を寄せ集めた状態で使用しないでください。  
用紙送り不良となることがあります。
- 3 逆改行コマンド（用紙を逆方向へ送るコマンド）で印字させると、正常に用紙送りできなことがあります。
- 4 直射日光の当たる場所では使用しないでください。
- 5 用紙は温度、湿度などの影響を受け易く、安定した用紙送りができないことがあります。保管も含め常温常湿のもとでご使用ください。
- 6 落としたり、ぶつけたりして衝撃を与えないでください。
- 7 セットする用紙の枚数を単票用紙の場合(A4 サイズ連量 55Kg 用紙の場合)は 160 枚以内、はがきの場合は 50 枚以内にしてください(用紙ガイドの赤線以内にセットしてください)。

## 2. 製品の内容

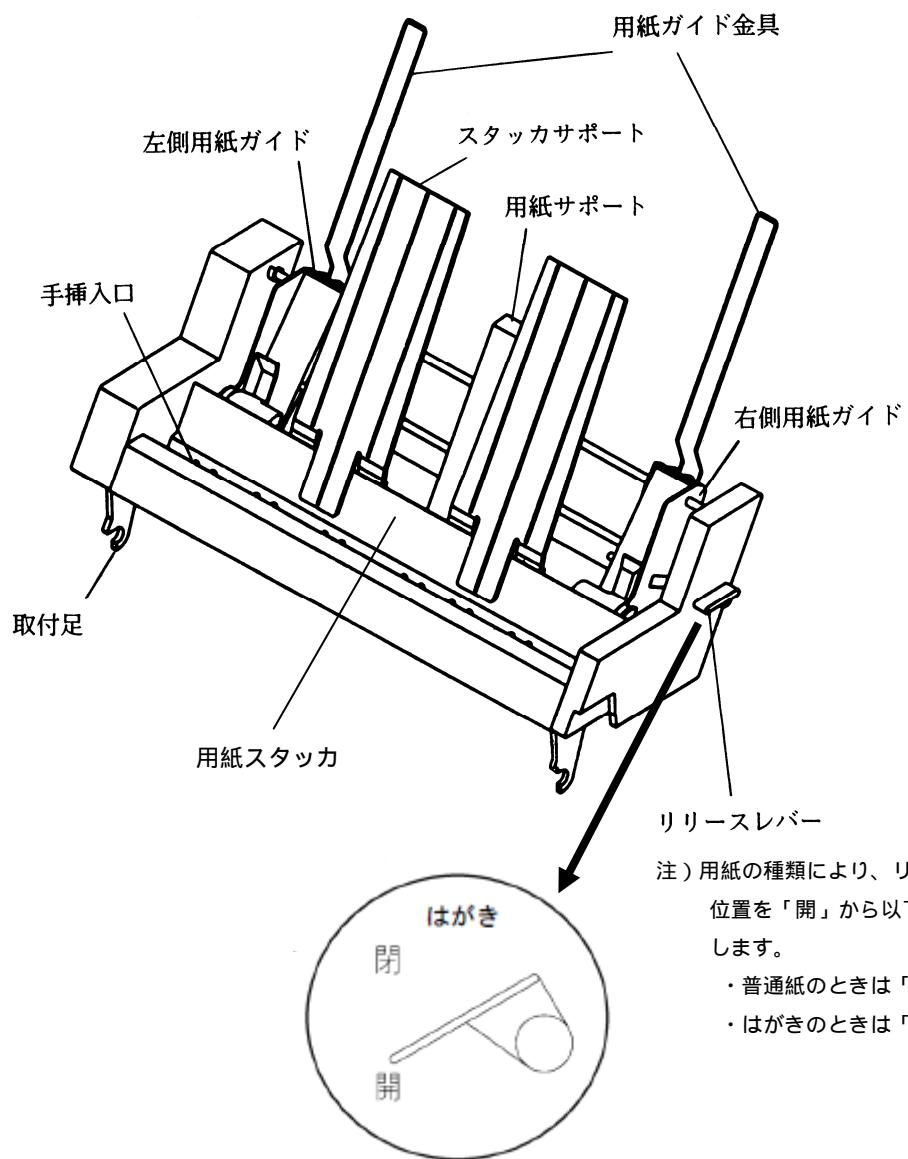
お使いになる前に、以下のものが揃っていることを確認してください。

カットシートフィーダ本体	用紙ガイド金具（2個）
	
スタッカサポート（2個）	ハードウェアガイド(本書)
	
用紙サポート（1個）	保証書（梱包箱に貼付）
	

### 重要

- 保証書に必要な事項が書かれていることを確認してください。  
ご購入時に、正しい記載のなかった保証書は無効となり、無償保証を受けられないことがあります。
- 保証書は、大切に保管してください。

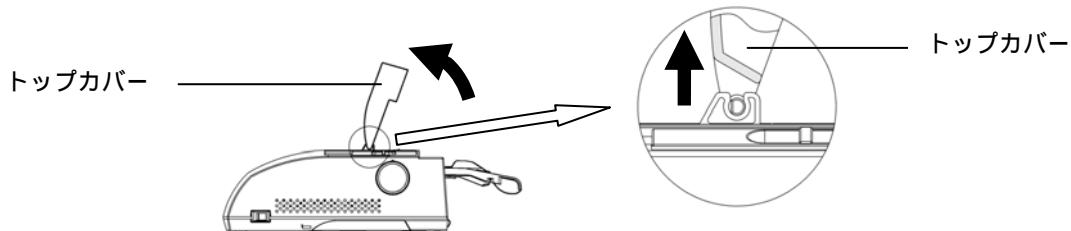
### 3. 各部の名称



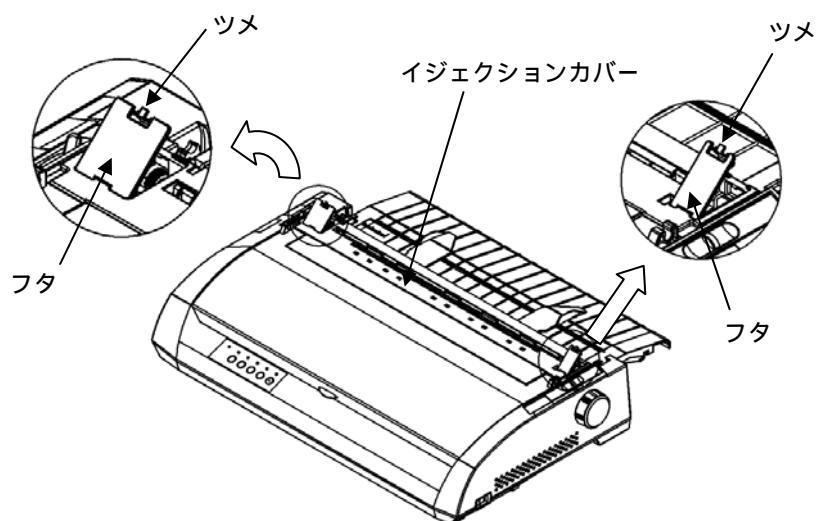
## 4. カットシートフィーダの搭載方法

### 4.1 カバーの取外し

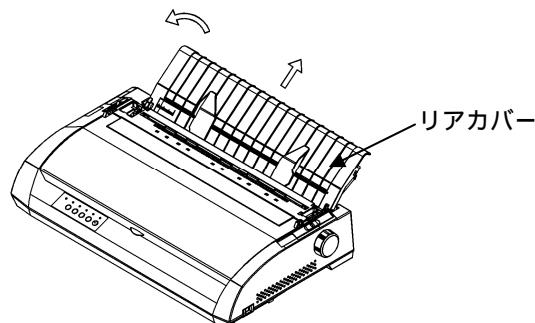
1. プリンタ装置の電源がOFFになっていることを確認してください。
2. プリンタのトップカバーを取り外してください。
  - ・トップカバーを垂直に立てて持ち上げるようにして外します。



3. プリンタのイジェクションカバーの左右のフタを取り外してください。
  - ・イジェクションカバー左右のフタを後側からツメを押しながら上部へ取り外します（イジェクションカバー左右のフタは、カットシートフィーダを取り外した時に再び使用するのではなくさないようにしてください）。

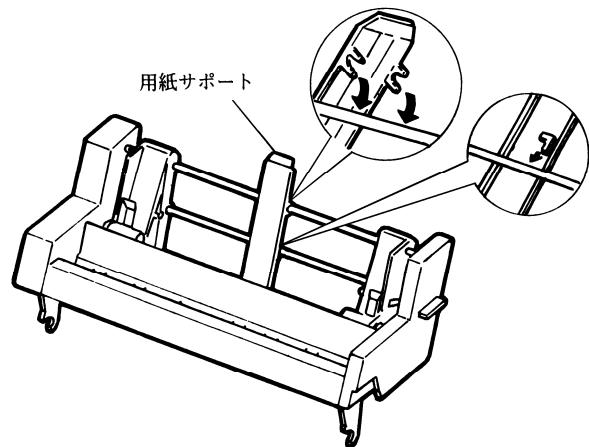


4. リアカバーを、手前に起こしながら（矢印①）、矢印②の方向に外してください。

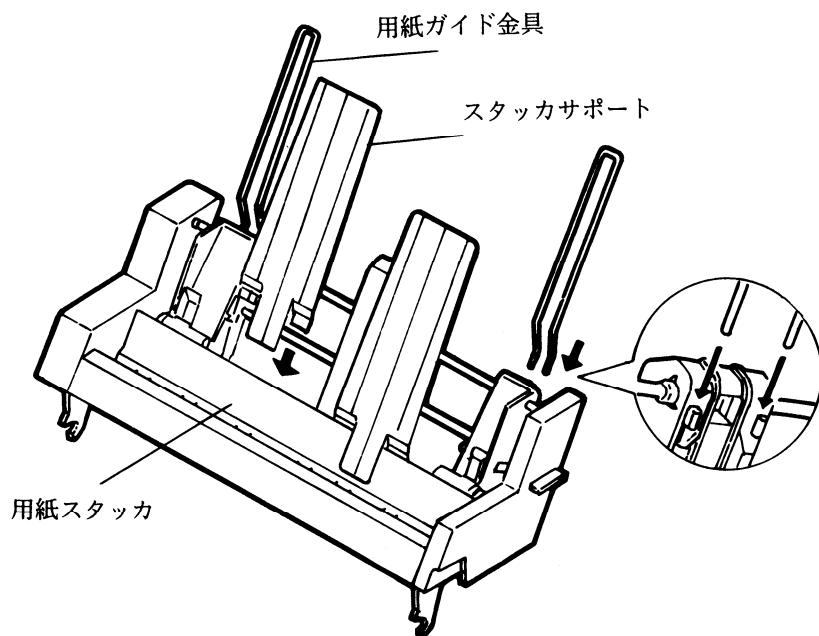


## 4.2 カットシートフィーダの取付け

- 用紙サポートを用紙ガイドのステーシャフトの中央に取り付けてください。  
①→②の順に取り付けます。

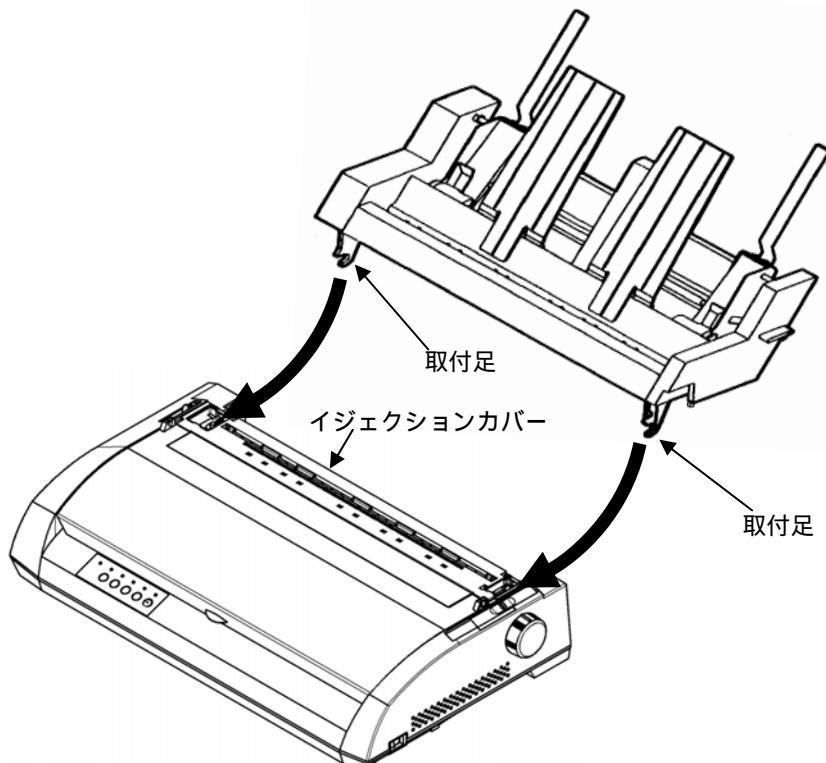


- 用紙ガイド金具（2個）を左右の用紙ガイドに差し込んでください。
- スタッカサポート（2個）を用紙スタッカに差し込んでください。



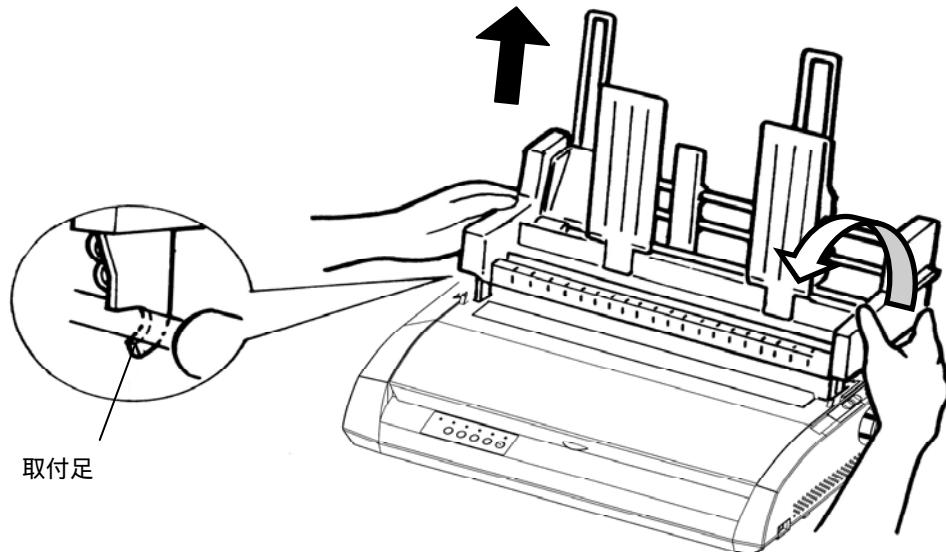
4. カットシートフィーダをプリンタに搭載してください。

イジェクションカバーの穴部にカットシートフィーダの取付足を差し込み、プラテン軸を挟み込みます。 カットシートフィーダをやや手前に傾けて差し込み、取付足が軸に載ったら水平に戻します。



#### 4.3 カットシートフィーダ取外し

1. プリンタ装置の電源がOFFになっていることを確認してください。
2. カットシートフィーダをプリンタ装置から取り外してください。  
カットシートフィーダを手前に傾けて取付足をプリンタ装置のプラテン軸から外して  
矢印方向に持ち上げてカットシートフィーダを外します。



- 重要)
- 取り外したカットシートフィーダは高温多湿な場所や直射日光の当たる場所  
を避けて保管してください。
  - 長期間カットシートフィーダを使わないときは、イジェクションカバーの  
左右のフタ（4ページで外したフタ）を取り付けてください。

## 5. オプション用品

### 5.1 ホッパーユニット (FMPR-CF81G)

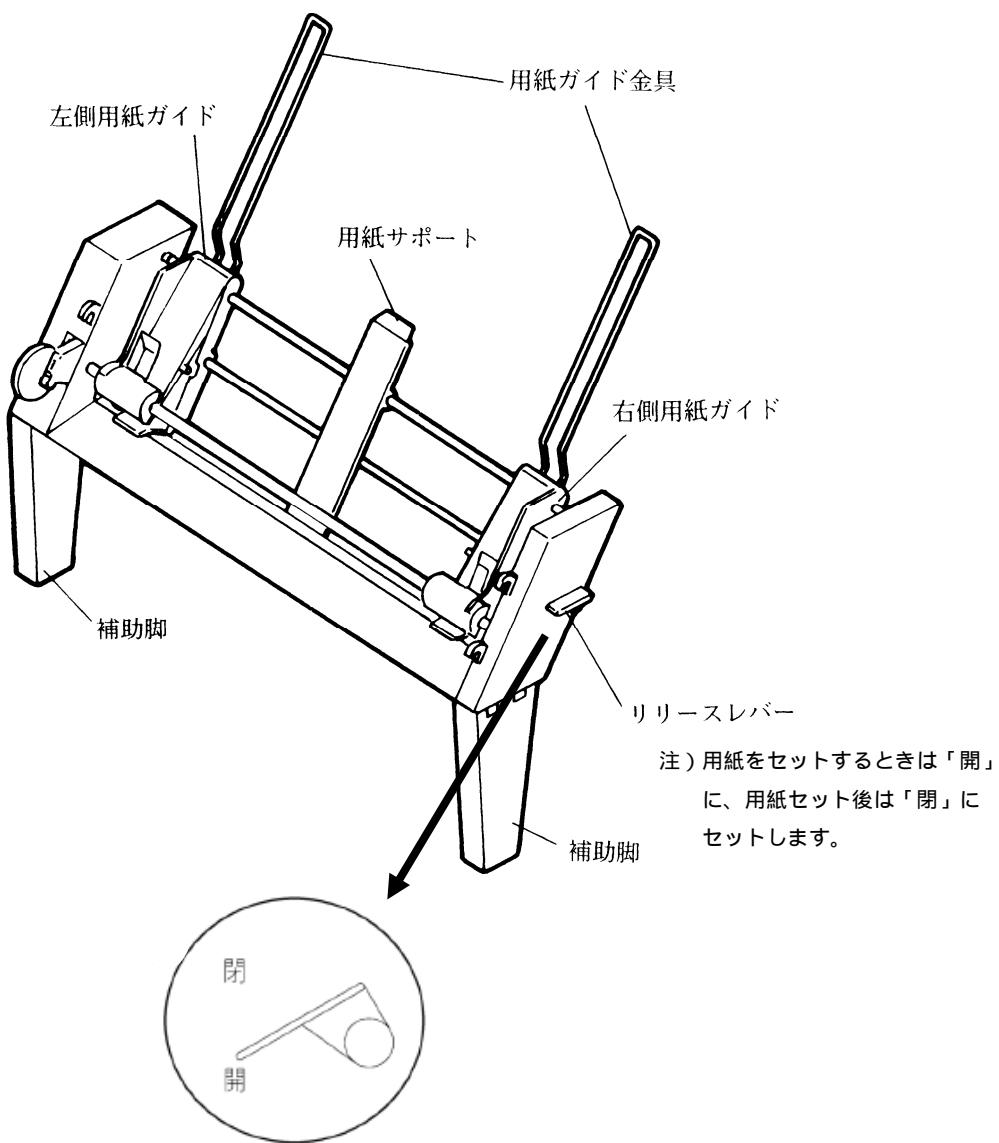
ホッパーユニット (FMPR-CF81G) は、カットシートフィーダ (FMPR-CF8G) へ取り付けて使用するものです。

このホッパーユニットを取り付けると自動給紙口が 2 個になり、セットした二種類の単票用紙を選択して使うことができます。

なお、はがきはホッパーユニットでは使用できませんので注意してください。

#### (1) 各部の名称

(下図は、ホッパーユニットの添付品を組み立て後の完成図です)



## 6. 故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に簡単な点検で解決する場合がありますので、下表の項目について確認してください。

現象	原因	処置
カットシートフィーダが動作しない。給紙ローラが回転しない。	カットシートフィーダがプリンタ装置に正しくセットされていない。	カットシートフィーダを正しくセットし直してください。
給紙ホッパーに用紙がセットされているのに用紙が吸入されない。	左右の用紙ガイドで用紙を強く押し込み過ぎている。 用紙が厚すぎる。  給紙ホッパーにセットした用紙の枚数が多すぎる。	用紙ガイドを用紙幅に合わせて正しくセットしてください。  仕様にあった用紙を使用してください。  用紙の枚数を単票用紙の場合は160枚（連量55kg）以内、はがきの場合は50枚以内にしてください（用紙ガイドの赤線以内にセットしてください）。
	用紙づまりになっている。  郵便はがきセットで、リリースレバーが“閉（水平）”になっている。	つまった用紙を取り除いてください。  リリースレバーを“はがき”にしてください。
	プリンタ装置の連帳／単票切替レバーが、「連帳」になっている。	連帳／単票切替レバーを「単票」側にしてください。
複数枚の用紙が同時に送られてしまう（マルチフィード）。	用紙を充分にさばいてなかった。  単票用紙セットで、リリースレバーが“はがき”になっている。  用紙が薄すぎる。 用紙に折れ、曲がりがある。	用紙を充分にさばいてセットしてください。  リリースレバーを“閉”にしてください。  仕様にあった用紙を使用してください。

現象	原因	処置
複数枚の用紙が同時に送られてしまう（マルチフィード）。	用紙が不揃いの状態でセットされている。  種類の異なった用紙が混在している。	用紙を正しくセットしてください。  用紙の種類は一種類にしてセットしてください。
紙づまりが起きる。	左右の用紙ガイドで用紙を強く押し込み過ぎている。  仕様以外の用紙を使っている。 用紙に折れ、曲がりがある。  種類の異なった用紙が混在している。  セットした用紙の枚数が多すぎる。  用紙が不揃いの状態でセットされている。  プリンタ装置の用紙厚調整レバー位置が正しくセットされていない（狭い）。	用紙ガイドを用紙幅に合わせて正しくセットしてください。  仕様にあった用紙を使用してください。  用紙の種類は一種類にしてセットしてください。  用紙の枚数を単票用紙の場合は 160 枚（連量 55kg）以内、はがきの場合は 50 枚以内にしてください（用紙ガイドの赤線以内にセットしてください）。  用紙を正しくセットしてください。  用紙厚調整レバー位置を使用する用紙厚に合わせてセットしてください。
行間隔が極端につまる。	プリンタ装置の用紙厚調整レバー位置が正しくセットされていない（狭い）。  給紙ローラ、プリンタ装置の用紙送りプラテンと用紙がすべっている。	用紙厚調整レバー位置を使用する用紙厚に合わせてセットしてください。  給紙ローラ、プリンタ装置の用紙送りプラテンを清掃してください。

現象	原因	処置
用紙が極端にかたむく。	<p>仕様以外の用紙を使っている。</p> <p>左右の用紙ガイドの間隔が広すぎる。</p> <p>給紙ホッパ内の用紙が不揃いの状態でセットされている。</p> <p>プリンタ装置の用紙厚調整レバー位置が正しくセットされていない（狭い）。</p> <p>リリースレバーの位置が正しくセットされていない。</p>	<p>仕様にあった用紙を使用してください。</p> <p>用紙ガイドを用紙幅に合わせて正しくセットしてください。</p> <p>用紙を給紙ホッパ内に正しくセットしてください。</p> <p>用紙厚調整レバー位置を使用する用紙厚に合わせてください。</p> <p>リリースレバーを用紙の種類に合わせて“閉”または“はがき”にセットしてください。</p>
用紙が正常に排出されない。	<p>スタッカに用紙が一杯になった。</p> <p>仕様以外の用紙を使っている。</p> <p>プリンタ装置の用紙厚調整レバー位置が正しくセットされていない（狭い）。</p>	<p>スタッカの用紙を取り除いてください。</p> <p>仕様にあった用紙を使用してください。</p> <p>用紙厚調整レバー位置を使用する用紙厚に合わせてください。</p>

## 7. アフターサービスについて

- ・保証書は、大切に保管してください。
- ・保証書は日本国内のみで有効です。
- ・無償保証期間は、お買い上げ日より 6 か月です。詳細は保証書をご覧ください。
- ・保守部品供給期間は、製造中止後 5 年です。
- ・分解、改造などを行わないでください。無償保証期間内でも無償修理が受けられないことがあります。
- ・故障の時は以下にご連絡ください。

『富士通ハードウェア修理相談センター』

通話料無料 : 0120-422-297

受付時間 : 平日 9:00~17:00 (土曜・日曜・祝日および年末年始を除く)

## 8. 仕様

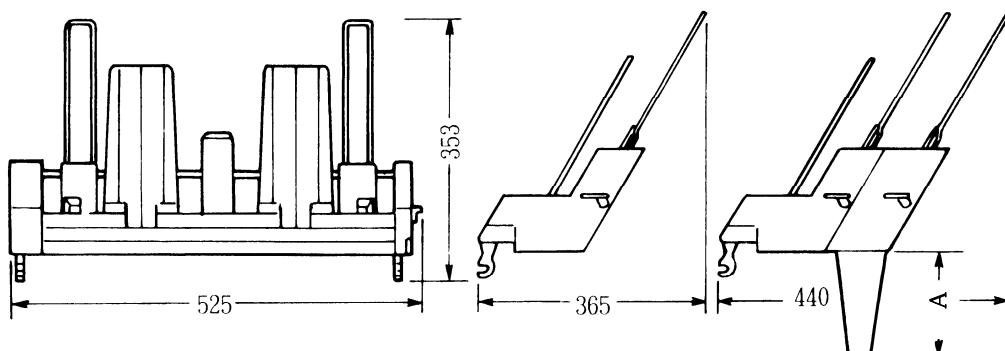
### (1) 仕様

- ・使用可能用紙
  - 用紙幅 182 ~364mm、用紙長さ 182 ~364mm  
〔ただし、ホッパーユニット（オプション）では用紙長さ 210 ~364mm〕
  - 用紙連量 55~70kg
  - 郵便はがき、往復はがき（折り目がないもの）  
〔ただしホッパーユニット（オプション）では使用できません。〕
- ・用紙収容量
  - 紙給側（未印字用紙側）160 枚
  - スタッカ側 160 枚  
〔ホッパーユニット（オプション）160 枚〕
- （注意：上記の収容量は A4 サイズ 55kg 用紙の場合です。）
- ・外形寸法
  - 525(W) × 365(D) × 353(H)mm  
(用紙ガイド金具を含む寸法)
- ・重量
  - 3.2kg

### (2) 環境条件

- ・温度
  - ①稼働時 5~35°C
  - ②非稼働時 -15~60°C
- （ただし温度変化は 15°C/H 以下）
- ・湿度
  - ①稼働時 20~80%RH (最高湿球温度 29°C 以下)
  - ②非稼働時 5~95%RH (最高湿球温度 29°C 以下)
- （ただし結露なきこと・30%RH/日以下）

### (3) 装置外観図



カットシートフィーダ単体の場合

カットシートフィーダ+ホッパーユニット

※A 寸法  
補助脚取り付け時：110

---

**カットシートフィーダ(FMPR-CF8G)  
ハードウェアガイド**

B5WY-1051-02

発行日 2013年7月

発行責任 富士通株式会社

---

- 本書の一部または全部を無断で他に転載しないよう、お願ひいたします。
- 本書は、改善のため予告なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権、その他の権利、損害については、当社はその責を負いません。
- 落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。